

サービス

小鳩屋 様

目的・課題 ホスピタリティの向上

導入商品

ネットワーク設計 (Wi-Fi)

飲食店をリノベーションし、
宿泊・カフェ利用ができる施設をオープン。
ホスピタリティの向上を図るため全スペースで
安定してつながるWi-Fiサービスを提供

紅葉の名所として知られる愛知・足助町の香嵐渓。2023年12月、そのすぐそばに「町を味わう巣籠もり宿」をコンセプトに掲げる「小鳩屋」がオープンしました。地元で長く愛されてきた飲食店をリノベーションして新たな息吹が吹き込まれた同施設は、新規開業に伴い2階の客室や1階のカフェ・コワーキングスペース等でのスマホやノートパソコンの快適利用を目的にWi-Fi接続サービスを導入。伝統町並保存地区内に建つ建物のためネットワーク施工には景観配慮が求められる中、事前調査を通して適切な機器選定・配線工事を行うことで景観を損なうことなく建物全域で安定通信が可能なWi-Fi環境を構築しました。



導入先プロフィール（2024年3月現在）

施設名 | 小鳩屋
所在地 | 〒444-2424 愛知県豊田市足助町新町34
URL | <https://www.kobatoya-asukehostel.com>

お客様の
課題

全部屋で快適につながるWi-Fi環境を整えたい

- 宿泊宿として新規オープン ▶ 快適性の高い客室が必要
- 観光・ビジネス利用を想定 ▶ 安定した通信環境の提供
- 客室景観への配慮が必要 ▶ Wi-Fi機器導入を前提とした設計

課題への
対策

Wi-Fiアクセスポイントを適所に設置し全客室をカバー
建物工事にあわせて配線をおこない景観を維持

快適に過ごせる客室を実現し、利用客の満足度アップ

- ☑ 全部屋で快適なWi-Fi提供 ▶ 宿泊・利用客からの高評価
- ☑ 宿泊宿のホスピタリティの強化 ▶ 客室の高稼働率維持に貢献
- ☑ 人々の交流の場として活用 ▶ 新たな賑わい創出に期待

POINT



景観維持を目的とした省スペース設置に最適な
小型筐体のWi-Fiアクセスポイントを採用

お客様インタビュー

小鳩屋

鳥居 智子氏



多台数の端末が同時接続しても 安定してつながるWi-Fi環境を構築。 顧客満足度を高め、 オープン以来Wi-Fiクレームゼロを継続中

概要

- ・施設全域で利用者向けWi-Fiを提供
- ・オープン以来、高稼働率を維持

スマホを自由に使えるWi-Fi環境に

地元で長く愛されてきた飲食店をリノベーションし、2023年12月に宿泊やカフェ利用が可能な施設へと生まれ変わった小鳩屋。同施設はオープンに伴い、利用者向けのWi-Fi接続サービスを導入。客室内やカフェスペースなど建物内全域でスマホやノートパソコンを快適に使えるようWi-Fi整備を構築しました。

利用客の利便性・満足度向上にも貢献

オープン直後から満室日も出るなど高稼働率を記録。多い日には1・2階をあわせて30人以上が施設を利用しますが、通信遅延などの不具合は一度もありません。快適な通信環境は利用客の利便性・満足度向上に貢献しており、今後はワーケーション利用など観光滞在以外の利用客の獲得にも期待が高まっています。

目標・課題

- ・新規開業に伴いWi-Fi整備が必要
- ・景観に配慮したネットワーク設計

宿泊施設でのWi-Fi提供は必須サービス

宿泊施設として開業するにあたり、客室ではスマホによる観光情報の取得やSNS・動画視聴、ビジネスでのPC利用など幅広い用途でのWi-Fi接続が想定されます。また、同施設ではインバウンド需要も見込んでいました。海外から訪れる観光客にとってWi-Fiの有無は宿選びの判断材料にもなるため、Wi-Fi導入はホスピタリティの観点から開業に伴う必須条件のひとつでした。

重伝建の街並みに馴染むWi-Fi整備

小鳩屋 鳥居 智子氏（以下、鳥居氏）は「1階は地元客や観光客向けのカフェやコワーキングスペース、あるいは学校帰りの子どもや学生の交流の場としても開放します。宿泊されるお客様だけでなく一般のお客様や子どもたちの利便性という点でも全館Wi-Fiが必要でした。また、建物は重要伝統的建造物群保存地区の街並みにあります。内・外観を含めて景観維持に配慮したネットワーク環境の設計・施工も求められました。」と話します。

解決策

- ・省スペース設置可能な機器を選定
- ・1・2階で異なる認証方法を採用

電波調査を行い、適所にWi-Fi機器を設置

観光・ビジネスシーン双方で安定してつながるWi-Fi環境の構築に向けてアクセスポイントを適所に設置。アンテナ内蔵の小型筐体かつ壁や天井など設置位置の自由度が高く、省スペース設置に適した機器を採用しました。その際、事前に電波調査を行うことでアクセスポイントの導入台数およびコストを抑えつつ、建物全域の通信をカバー。また、建物工事のタイミングにあわせて配線工事を行い、壁の中にLANケーブル等が隠れるようにすることで景観を維持しています。

認証方法を変えることでセキュリティを強化

施設の1階は地元民や観光客が利用できるスペースとして一般開放しています。不特定多数のWi-Fi接続が想定されることから、1階と2階でそれぞれ異なる認証方法を採用することでセキュリティを強化。2階の宿泊者用Wi-Fiには暗号化キーのみ設定することで利便性を考慮しつつ、不特定多数がWi-Fi接続する可能性がある1階では暗号化キーに加えて同意認証を併用しています。

効果

- ・クレームゼロ。高い顧客満足度に結実
- ・新たな需要の拡大も喚起していきたい

快適な通信環境で週末は満室日も多数

オープン直後から週末は満室になる日が多く、平日でも1日2〜3組の宿泊予約が入るなど「当初の想定よりも多くのお客様にお越しいただきました」と鳥居氏は話します。その後、予約数は徐々に落ち着きつつも変わらず高稼働率を維持。2階の宿泊者向け客室は最大14人、1階のスペースは多い時で20人前後が利用しますが、現在までにWi-Fiの通信遅延や接続不良に関する利用者からの不満や問い合わせは一切ありません。

観光滞在だけでなくワーケーション需要も喚起

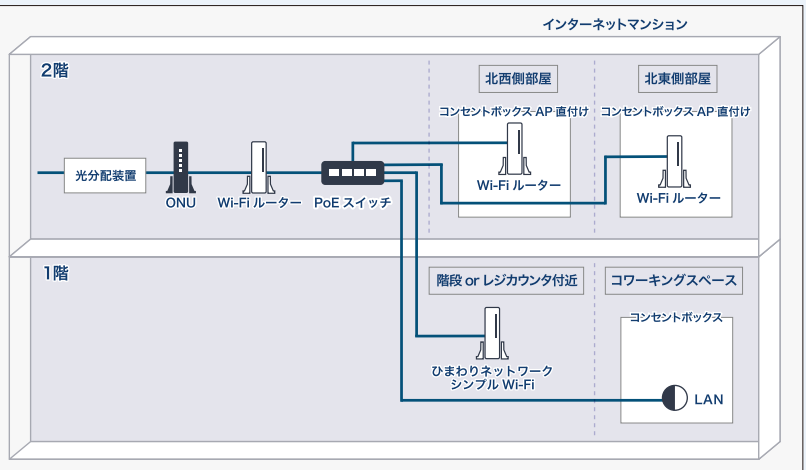
香風溪に代表される豊かな自然はもちろん、古い街並みや人との交流も足助の魅力です。今後について、鳥居氏は「観光滞在だけでなく、ワーケーションの場としてのポテンシャルも備えています。まずは宿としてファンを獲得し、ゆくゆくは観光以外の目的で足助に来てみたいと思ってもらえるよう地域活性化にも貢献できれば嬉しいです」と話してくれました。



雰囲気を損ねないよう
目立たない位置に
Wi-Fiルーターを設置

イメージ図

小鳩屋 ネットワーク 構成



建物全域に電波が届くよう事前に調査を実施したうえでWi-Fiルーターを適所に設置。導入台数を必要最小限に止めることでコストを抑えている。また、セキュリティ対策として1階と2階で異なる認証方法を採用。